

彩雲

通巻135号

【生徒の良いところを探し、 支援する学校を目指して】

清水高等学校 校長 増田 康広

私は教員人生で、実は2校しか教壇に立っていません。そのうちの一つの学校は、当時、学年9間口、職員が多分60名くらいだったと記憶しています。会議では、何かにつけて紛糾する場面が多く、教育論を背に‘大人の喧嘩’となることも珍しくありませんでした。そんな熱い学校でしたが、どんなに紛糾しても、不思議とある方向に向かって意見が収斂され、校長の決裁が下っていました。

実は、多士済々の意見を収斂に導く額が、会議室の正面、校長先生の頭上に掲げられていました。校長の判断が下る際には、全員が校長の口に注目するため、自然とその頭上の額に目をやることとなります。そして、下された判断が、頭上の額の言葉に背いたものでないか、それぞれが心の中で審判を下していました。

その額には、「生徒の良いところを探し、それを支援しよう」と太く、でかく書かれていました。

働き方と学校行事精選、学力保証と単位認定・進級、不登校対応や生徒指導案件、部活と講習、授業改善と新評価方法、ICT活用など、学校はいつも課題に溢れ、新しい対応を迫られています。課題の対応は避けられませんが、その対応の方向は学校のカラーであり特色でもあります。その学校では、知恵や方策を出し合う観点は、生徒の良いところを伸ばすための方策となっているか、そこに向かっていくかということだったと思っています。

先日、卒業式を控えた日に、本校の関係団体と懇親する機会があり、次のような言葉をいただきました。「校長先生、やっぱり、日本の社会を良くするには、教育だよ。」

本当に、私もそう信じており、そこに職業人としての誇りを密かに抱いています。

時代はまさに、多様性への対応が求められています。今を生きる子どもたちも、清水高校で様々な個性を持った仲間と触れ合いながら、自分とは異なる多様な仲間の良いところを探す人になってほしいと思っています。そうして、彼ら・彼女らが社会の中核となる2050年の世界で、異なるアイデンティティを持つ多様な隣人と遠慮なく議論をし、よりよい社会づくりに貢献する人材となることを目指し、職員一丸となって教育活動をより一層、進めて参る所存です。



【答辞卒業生代表3年A組大谷空】



【第26回卒業証書授与式】



【送辞在校生代表2年A組太田玲亜】

【今後の行事】

【3月後半】

17日(月) 合格発表
24日(火) 終業式・離任式
25日(水) ~4月7日(月)

学年末・学年始休業

【4月前半】

8日(火) 始業式・着任式・入学式
9日(水) 対面式

🌸 ここからは昨年の10月から3月までの清水高校の様子をご紹介します 🌸

【建設現場作業体験—2年次技術分野】2年A組 鈴木 煌大

10月3日、最初に学校で「建設業ってどんな仕事?」「災害時の役割～応急仮設住宅」について講義を受けた後、旧下人舞小学校体育館に場所を移し、木板塗装作業を体験しました。木材は塗料をよく吸うので、全面に多めに塗ることを学びました。そして最後に場所を清水駅近くにある木造応急仮設住宅改修工場現場に移しました。ここでは、木板釘打ち作業では木材を壁に打ち付け、トンカチの面を垂直にあてることなどの技術を学びました。住宅については、モデルの内装と間取りが簡単に換えられることを知りました。この日は短い時間の中で普段経験できないことをたくさん学びました。最後になりますが、このような素晴らしい学びの機会を作ってくださった北海道ビルダーズ協会様、そして北海道清水町北方建築総合研究所の皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。

【一日防災学校】1年B組 武藤 蓮希

10月29日、清水消防署と清水町役場総務課のご協力のもと、火災を想定した避難訓練と一般救急講習で心肺蘇生とAEDの使い方について学びました。

1時間目の避難訓練では校舎2階調理室から火災が発生したと想定し、グラウンドへ避難しました。避難訓練後の講評の中で、避難経路を間違えて逃げ遅れている人がいたというお話がありました。校舎内に慣れている人でも逃げ遅れているので、もし本当に火災が起きたとき、迅速かつ安全で正確な避難をするためにも校舎内の避難経路を把握する必要があると思いました。2時間目は救急救命のDVDを視聴し、3時間目は一般救急講習を受講しました。その後、実際にダミーの人形を使用し学んだことを実践しました。心臓マッサージについては、中学生の頃に体験していましたが、AEDを使っての心肺蘇生は初めてでした。心肺蘇生を学ぶ機会はありませんので非常に勉強になりました。もし目の前に倒れている人がいたら、ただの傍観者にはならず、今回学んだことを生かし自ら率先して人の命を救えるような人間になりたいと思いました。

【合唱祭—金賞2A】ホームルーム長2A 梶谷 颯

12月6日に清水町文化ホールにて合唱祭が行われました。今回、合唱祭で金賞を受賞することができ、とてもうれしく思います。練習の時から銅賞以上を受賞することを目標にしていました。しかしまさか金賞を受賞できるとは思っておらず、順位を発表されたときは、嬉しさより驚きが勝りました。この賞は2Aの一人一人が一生懸命に練習に取り組んだ結果であり、クラス全員の力で勝ち取ったと思います。ご指導して下さった担任の松下先生、副担任の杉村先生、ありがとうございます。今後は進路活動がメインになります。今回の優勝を励みとし、進路活動へ向けて頑張ります。

【とちかち企業業種説明会—とちかち学校、企業交流授業】

3月11日に1年次の「産業社会と人間」の授業の一環で、1年次全員が「とちかち企業業種説明会—とちかち学校、企業交流会」に参加してきました。会場には十勝管内の企業17社が集まりました。各企業の経営者や採用担当者から直接、就職を考えている生徒へ向けて、「社会人として働く意義」、「企業が求める人材」、「各業界の展望」などを説明していただきました。また、進学希望者向けへの進路講話も実施され、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。生徒たちは今回の企業説明会に参加したことにより、進路への意識が高まったようです。普段の授業に真剣に取り組む、検定取得などに努力し、自分の抱いている夢を叶えて欲しいと思います。

